

令和8年6月2日

令和8年度

# 高砂市補正予算概要

暮らしイキイキ 未来ワクワク  
笑顔と思いやり育むまち



謡曲「高砂」のふるさと

高砂市財務部

# 令和8年度6月補正予算の概要

(単位：千円)

区 分	補 正 額
一 般 会 計	第2回 176,927
特 別 会 計	0
国民健康保険	補正なし 0
後期高齢者医療	補正なし 0
介護保険	補正なし 0
企 業 会 計	0
水 道	第2回 0
収 益	0
資 本	0
工業用水道	補正なし 0
収 益	0
下 水 道	補正なし 0
収 益	0
資 本	0
病 院	補正なし 0
収 益	0
資 本	0

## 第 2 回 一 般 会 計 補 正 予 算 の 内 訳

(単位:千円)

歳 入		歳 出	
款	補正額	款	補正額
⑬国庫支出金	62,760	②総務費	22,956
⑰繰入金	90,268	③民生費	81,513
⑲諸収入	2,999	④衛生費	42,494
⑳市債	20,900	⑥農林水産業費	5,493
		⑩消防費	2,524
		⑪教育費	21,947
計	176,927	計	176,927

(単位:千円)

補正後の地方債現在高見込額	39,495,017
補正後の財政調整基金現在高見込額	4,783,950

## 〔一般会計〕

(主な歳入)

(単位：千円)

### ⑰繰入金

財 政 調 整 基 金 繰 入 金

90,268

### ⑱諸収入

コ ミ ュ ニ テ ィ 助 成 事 業 助 成 金

2,000

生 成 A I パ イ ロ ッ ト 校 事 業 委 託 金

987

### ⑳市債

地 域 交 流 セ ン タ ー 一 整 備 事 業 債

12,400

水 道 事 業 会 計 水 道 管 路 耐 震 化 事 業 債

8,500

(主な歳出)

### ②総務費

高 砂 公 民 館 跡 売 却 事 業  
(高砂公民館跡解体工事費負担金)

8,100

コ ミ ュ ニ テ ィ 助 成 事 業  
(一般コミュニティ助成事業助成金)

2,000

各 地 域 交 流 セ ン タ ー 一 整 備 事 業  
(伊保地域交流センター改修工事費)

12,400

### ④衛生費

水 道 事 業 会 計 繰 出 事 業

15,000

### ⑪教育費

情 報 教 育 管 理 事 業  
(出張旅費等)

987

(単位：千円)

(アスベスト測定手数料)

消 防 団 施 設 整 備 事 業 (高砂分団庫ほか5施設)	2,524
小 学 校 施 設 建 設 事 業 (高砂小学校ほか8施設)	10,332
中 学 校 施 設 建 設 事 業 (高砂中学校ほか5施設)	10,628

〔企業会計〕

( 水 道 )

(収入)

一 般 会 計 繰 入 金 (水道管路耐震化事業 重点対策分)	8,500
一 般 会 計 繰 入 金 (デジタル技術を活用した水道管路の点検・調査分)	6,500

# 主要事業説明書

コミュニティ助成事業

補正予算額

2,000 千円

【担当課：協働部地域振興課】

予 算 科 目 款:②総務費 項:(1)総務管理費 目:17自治振興費

第5次高砂市総合計画後期基本計画 3-2まちを考え、行動する市民活動があるまち【市民活動政策】



## ■ 事業内容

(一財) 自治総合センターから助成金の採択を受けた団体に対し、補助金を交付します。

一般コミュニティ助成事業(補助率10/10)

【実施団体名】 北山自治会

【事業名】 自治会コミュニティ活動備品の整備事業

【補助金額】 2,000千円

## ■ 事業の目的、効果

(一財) 自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ります。

## ■ 経費内訳

・負担金補助及び交付金	2,000 千円
-------------	----------

## ■ 財源内訳

・諸収入	2,000 千円
------	----------

# 主要事業説明書

情報教育管理事業(生成AIパイロット校事業) 補正予算額 987 千円  
 【担当課：教育部学校教育課】

予 算 科 目 款:①教育費 項:(1)教育総務費 目:2事務局費  
 第5次高砂市総合計画後期基本計画 1-2子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】



## ■ 事業内容

本事業は、生成A Iが急速に社会に普及する中、学校現場における利活用  
 の実践事例を創出し、その成果・課題の検証をするとともに、好事例の普  
 及・展開を行います。  
 また、先進地への研修や授業公開を行います。

## ■ 事業の目的、効果

現在、学校現場は「教職員の多忙化」と「こどもたちの思考力低下」とい  
 う2つの課題に直面しています。  
 本事業では、最新のA I技術を活用し、「先生に心のゆとりを、こどもに  
 考える楽しさを」提供する高砂モデルを構築します。

## ■ 経費内訳

・報償費	15 千円
・旅費	879 千円
・需用費	93 千円

## ■ 財源内訳

・諸収入	987 千円
------	--------